

卒業生を訪ねて

N02

八尾高校の後期中間考査最終日 12月9日（金）
「八尾市役所 八尾市経済環境部 環境保全課」
福野克也さん（58期）同じく菱井正人さん（60期）
に八尾高校校長室でお会いしました。
仕事を終え来ていただきましたので、18時頃から
約1時間お話を伺うことが出来ました。



<最後まであきらめない気持ちが大事と福野さん>

福野さんはお父様も公務員でしたが、高校在学中は将来公務員になるつもりも全くなく、漫然と八尾で働きたいなくらいの意識だったようです。勉強面では、どうしても数学が分からず、苦手意識も強かったので、受験には数学の科目がない文系私学の大学を考えていらしたそうです。社会系は好きだったし、英語や国語も苦手と思わずにいったので、最終3教科型にシフトして勉強したようです。ただそのときも、経済的なことから親に負担をかけるので、国公立に行けたらという思いはあったようですが、親御さんの理解もあって了解して頂けたと仰っていました。いざ公務員試験を受ける時に受験勉強でやはり数学もあり、そのときは分かって来たところもあったので、高校時代にもう少し数学を勉強していたら別な道もあったのになあと考えられ、少し後悔していると言われたのが印象的でした。大学は立命館大学。後期の試験でギリギリ受かり、予備校も押さえていたと謙遜されていました。最後まであきらめないその努力が報われたのであって、今の後輩達に伝えたい大事なことだと感じました。

学部は産業社会学部。スポーツと文化など社会学を学ぶ学部です。4回生まで家から通学されたのがしんどかった。通学時間が長い中で、勉強やアルバイトの時間を捻出し、ほとんど授業もサボらなかったと自分でも頑張ったなあと言われました。就活という点では、他人と違う経験を沢山積んでおくことの重要性を強調されました。ゼミを選ぶときも、その先生が学外でどれだけ人脈があり、いろんなパイプを持っているか、様々な場面でのフィールドワークの経験などがとても大事であると就活で苦労された分、しみじみ仰っていました。ご友人に高校時代から自分の目標をしっかり持って、この資格が取りたいからこの大学と選んで、仕事についておられる方の話をされ、初めから目標を持って学ぶ人のすごさを教えてもらいました。

就活は3回生の10月からでリクナビやマイナビにエントリーシートを送ったり、京セラドームに説明会に行ったりされました。大手の食品やスポーツ関係の企業を受け一次で不合格も多く、焦りはあった様です。冬からは予備校でも公務員試験のために学ぶという、ダブルスクールで頑張っておられたそうです。当時はリーマンショックのまっただ中でなかなか厳しい状況でした。



今は仕事にやりがいを持っておられるようで、市民の人たちと一緒に事業を進めていく面白さ、思ってもいなかった大学生達との協働の仕事があります。勤務時間が長い時があっても楽しんで仕事に取り組んでおられ、やりがいのある公務員になって良かったと仰っていました。

<将来をイメージする力が大切と菱井さん>

次に 60 期の菱井さん。高校時代は軟式野球部でした。こちらも親御さんが市の職員で、漫然とやはり八尾で働きたいと思っていたようです。大学は親御さんが関学を薦めておられた様子。こちらでも数学、化学が 1 年の時から苦手で文系私学の 3 教科で受験するようになったとのこと。1 年浪人の後、同志社大学に合格。幅広い学問が出来るからとの理由から、「政策学部」に決められたとか。2 回生のゼミで地方自治を選択し政策フォーラムにも参加、その頃から公務員をめざしていたようです。下宿をされ、それはそれで親友も出来、大学生活は楽しかったと言われました。就職活動では初めから公務員を目指しておられましたが、経験にと民間の面接も受け、国家公務員の試験も受けたそうです。今の八尾市の採用も過半数が社会人経験で他の業種からの方が多いのだそうです。後輩に対するメッセージは「具体的に将来をイメージする力をつけること」だそうです。要は社会に出てどんな仕事をしていきたいのか、どんな生活をしていきたいのかをイメージすることです。（たとえば、「営業やったらどんなことするのだろう?」「事務やったら・・・」、「製造やったら・・・」といった社会人としての自分の姿を想像する。）なんとなく思っていることを具体化し、その姿が自分にとってなりたい将来の姿なのかイメージする。それが学部の選び方にも表れるのだそうです。



<社会から求められるスキルとは>

主体的に物事を考えることができるのか就職面接で問われるそうです。お二人のお話の中に主体的に学部学科を選択され、大学生活を送られている様子を感じました。

お二人とも若い 20 代の方達なのに、礼儀正しく、丁寧な物言いが印象的でした。様々な方と接する機会も多い職場なので自然と身についた部分と、それまでの人生経験で身につけた部分とが相まって好印象の人物に成長されたのでしょうか。人の話をしっかり聞いて、それに対して真摯に答えるのは人間として社会で働く上での基本だと感じた次第です。

語彙説明

「リクナビ」、「マイナビ」

大学生向けの就職情報サイトの大手

大学の求人票にも「リクナビ」、「マイナビ」対応と書かれ、就職説明会や面接のエントリー等に各企業が活用しており、大学生はこのサイトを利用して就職活動を行うことが多いとのこと。